

～ 自ら進んで、学び、鍛える、共に生きる ～

学校教育目標	○ 生活や学習の基礎基本を通して、主体的に課題を見いだし解決する力を身に付けた生徒を育てます。(知)
	○ 礼儀や規律を大切に、夢や希望、感謝の心をもった生徒を育てます。(徳)
	○ 心身共に健康で、自他の生命や自然を尊重する生徒を育てます。(体)
	○ 社会の一員としての自覚と責任をもち、よりよい社会を実現しようとする生徒を育てます。(公)
○ 体験を通して自らの可能性を知り、広い視野に立ったものの見方や考え方を身に付けた生徒を育てます。(開)	

学校概要	創立 12 周年	学校長 熊谷 博文	副校長 金子 裕史	2 学期制	一般学級: 13	個別支援学級: 2
	児童生徒数: 471 人	主な関係校: 田奈小学校、奈良の丘小学校、長津田第二小学校、榎が丘小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	あかね台中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
○ 確かな学力の定着と自ら課題を発見、 解決できる資質、能力の育成 ○ 自分を大切に、人を思いやる心の育成 ○ 命を大切に、心身豊かな健康を育成	あかね台中学校 田奈小学校 奈良の丘小学校	○ 自ら進んで、学び、鍛え、共に生きる子ども ・9年間を見通した成長を考えた連携・相互理解のため、小中合同研修会を実施し、更に、共通の学校評価づくりを行います。 ・あかね台中学校ブロックで学校運営協議会を設立、家庭や地域および関係機関との連携をさらに推進することで、生徒一人ひとりが社会を生き抜く力の育成に努めます。 ・子ども像を共有しながら、細かな小中の情報交換を進めるために、定期的な校長会、専任会、教務主任会を設定します。

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に取り組む「わかる・魅力ある授業」を実践し、思考力・判断力・表現力を高めます。 ・生徒が授業や行事に主体的かつ協働的に取り組むことで自ら課題を発見、解決できる資質、能力を育成します。 ・優しさや思いやりの心を育む「心の教育」を推進するために、教育活動全体を通して行う道徳教育・人権教育の充実を図ります。 ・いじめ・不登校の未然防止のため、日常的な生徒との関わりや相談活動を通して、「信頼」と「共感」に基づく生徒・保護者との関係づくりを進めます。 ・9年間で育てる子ども像の実現のため、小中一貫教育を更に推進し、社会を生き抜く力の育成に努めます。 ・小中連携した学校運営協議会を通して、「地域とともにある学校」を目指します。
--------	---

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①生徒の思考力・判断力・表現力を高めるために「わかる」、「主体的・対話的で深い学びができる」授業を行う。②「9年間で育てる資質・能力」を育成するために、小中連携して生徒の変化について考察し、継続的な取組を行う。③学びを助けるツールであるICTの利用する。
担当	教務部・学習指導部	
徳	豊かな心	①自他を尊重し、よりよい社会の実現に向けて実践できる生徒の育成を目指し、道徳授業を充実させる。②生徒の人権意識を高めるために講演会を開催したり、各教科内で人権意識を高める工夫を行う。③全国・市学状の経年変化による分析から規範意識を高める教育活動を行う。
担当	道徳・人権担当	
体	健康教育	①保健体育を中心とした教科指導や特別活動、部活動を通して、生徒が健やかな体づくりに向けて主体的に考え、実践できる力を育む。②健康教育や学校保健委員会、食育などを通して、生徒が心身の成長や健康について関心をもち、自ら健康で安全な生活を送れるように支援を行う。
担当	保健体育科・健康安全指導部	
公 開	公共心と 社会参画	①職業講話、職場体験、模擬面接を実施し、将来を見据えた勤労観や職業観を育む。また地域との連携を深めることで社会参画、公共心について意識を高める。②生徒のSDGsへの意識や実社会への関心を高めるため、生徒の身近な社会問題を関連付ける授業や様々な教育資源の活用を行う。
担当	総合担当	
いじめへの対応		①教育相談や生活アンケートにより細かな変化を見逃さない体制をつくる。②毎週行われる学年連絡会を充実させ、いじめ防止対策委員会と連携し、生徒の様子や認知された案件の経過確認を丁寧に行うことで再発防止に努める。③生徒の心情に寄り添った対応、支援を行う。
担当	生徒指導部・いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営(働き方)		①学校教育全体の計画に合う合理的な働き方を目指すために必要な各教育活動の具体的な計画を確認、整備し直す。②ブラザーシスター制度をはじめOJTを更に充実させ、教員の力量を向上させる。③学年連絡会を更に機能化し、リーダーの主体性を引き出し課題解決に取り組む。
担当	教務部・メンターチーム	
生徒の主体的活動		①学年行事に生徒の主体的活動を取り入れ、思考力・判断力・表現力を育み問題解決能力を高める。②グループワークなど協働しながら問題解決を図れるように指導を継続する。③文化祭や体育祭、生徒総会の企画・運営など生徒が更に主体的に行えるように指導していく。
担当	特活指導部	
生徒指導		①生徒理解研修を実施して、生徒の心情に寄り添った生徒指導の充実を図る。②YPを活用した教育活動を充実させ、生徒が安全・安心して学校生活を過ごし、豊かな人間関係づくりができるように支援する。③教育相談を充実させ、生徒・保護者に寄り添った支援を心掛ける。
担当	生徒指導部	
特別支援教育		①個別の教育支援計画・指導計画を柱とし、生徒の個性の把握に努め、個に応じた支援を行う。②必要に応じて特別支援推進委員会を行い、特別な支援を要する生徒への支援を継続する。③研修を行い、ユニバーサルデザインや特別支援教育に対する教職員間の理解と意識の向上を図る。
担当	特別支援教育推進委員会	
地域学校協働活動		①小中連携のもと地域と教育目標を共有し、教育力向上のため組織的・継続的な連携を図る。②地域学校協働本部を中心に、総合学習の充実、放課後の学習支援を実施する。③質の高い学校教育を維持しつつ、教職員の働き方について議論を行い、教育活動の合理化を図る。
担当	学校運営協議会事務局	